



2026 年 3 月 9 日

各 位

クオールホールディングス株式会社

クオールグループ 「健康経営優良法人 2026(大規模法人部門)」に認定

全国にクオール薬局等の保険薬局を運営するクオールホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：中村 敬、以下クオール）のグループ会社であるクオール株式会社、アポプラスステーション株式会社、アポプラスキャリア株式会社は、経済産業省が定める健康経営優良法人認定制度に基づき、2025年に続き健康経営優良法人2026(大規模法人部門)に認定されたことをお知らせいたします。



■健康経営優良法人認定制度とは

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に、経済産業省が制定し、日本健康会議が認定する顕彰制度です。

■本取り組みの経緯と狙い

健康経営とは、社員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することであり、近年、企業価値の向上や持続的成長の観点から、社員の健康保持・増進に向けた支援の重要性が一層高まっています。

クオールグループはマテリアリティの一つに「社員のクオリティ オブ ライフ向上」を定めており、総合ヘルスケアカンパニーとして社員の健康増進にも注力しております。クオールグループはこれからも社員が健康で安心して働けるような環境を提供し続けられるよう、取り組みを進めてまいります。

■健康経営への主な取り組み

・クオール健康 DAY の制定(クオール株式会社)

毎月 9 日を「クオール健康 DAY」とし、社員の健康意識向上を目的に、健康維持・増進に役立つ情報を継続的かつ積極的に発信する啓発活動に取り組んでおります。

・腹八分目運動 DAY の制定(アポプラスステーション株式会社)

食生活の見直しを通じた健康意識の向上を目的に、月に一度「腹八分目運動 DAY」を設け、社員への啓発活動を推進しております。

・ラジオ体操やヨガの実施(アポプラスキャリア株式会社)

基礎代謝や柔軟性の向上、血行促進、心肺機能の促進、骨粗鬆症の予防、認知機能の向上、ストレス解消を目的に、月に一回ラジオ体操やヨガを実施しております。

■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現へ向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。

そのマテリアリティの一つとして、「社員のクオリティ オブ ライフ向上」を掲げています。クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。

[\(https://www.qolhd.co.jp/sustainability/\)](https://www.qolhd.co.jp/sustainability/)

ESG課題	マテリアリティ	重要テーマ	関連するSDGs	目標・KPI
- 気候変動対応 - 資源循環 - 廃棄物管理	気候変動への対応	- 環境負荷の低減 - 自然エネルギーの積極活用 - 医薬品の廃棄削減 - CO₂排出量の低減 - 電力使用によるGHG排出の削減		- 商品廃棄率の低減…2030年までに1.7%* - グループ全体のGHG排出量 …2050年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)をゼロ …2030年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)を2023年度比で42%削減 - レジ受利用率…2030年までに8%以内 / 2050年までに5%以内* *対象：クオール4社
- 地域社会への貢献 - ダイバーシティ推進 - 製品の品質と安全 - 人材育成の強化	地域のクオリティ オブ ライフ向上 社員のクオリティ オブ ライフ向上	地域のクオリティ オブ ライフ向上: - 雇用創出 - 医療従事者への支援 - 次世代への教育支援 - 高齢化社会への対応 - 地域コミュニティへの貢献 - 市民向け講座の実施 社員のクオリティ オブ ライフ向上: - ダイバーシティの推進 - 人材開発の促進 - ワークライフバランス推進 - 福利厚生、労働環境の多様化 - DX推進による人材の有効活用		- 地域連携薬局数 - 専門医療機関連携薬局数 - 健康サポート薬局数 - かかりつけ薬剤師数 - 健康イベントの開催回数 - 女性管理職比率 2030年までに50%* - 男性育休取得率 - 二次検診受診率 - えるぼし・健康経営の認定継続* *対象：クオール4社
	持続的な医療によるクオリティ オブ ライフへ貢献	- サプライチェーン管理の強化 - 医療継続を実現する組織力の強化 - 総合ヘルスケア支援の強化		- 安否確認訓練報告率…100% - 止水板による浸水対策 - BCPの継続改善、実践力の強化 - 電子おくすり手帳
- 透明性のある経営と情報開示 - コンプライアンスの徹底	新しい医療価値の創出 コーポレート・ガバナンスの強化	新しい医療価値の創出: - パートナーシップ事業展開 - 医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出 コーポレート・ガバナンスの強化: - 取締役会の実効性強化 - コンプライアンス強化 - 適切な情報開示と透明性の確保 - 情報セキュリティの強化 - BCPの確立		- 電子処方箋利用率 - オンライン服薬指導実施率 - 社外取締役数 - 女性取締役数 - 取締役会評価点数

クオールグループが掲げる 6 つのマテリアリティ（重要課題）

【本件開示に関するお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

Tel : 03-6430-9060（お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時）

以 上